

Elazzio

SEAT COVER



HONDA
FREED

専用シートカバー取付説明書

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

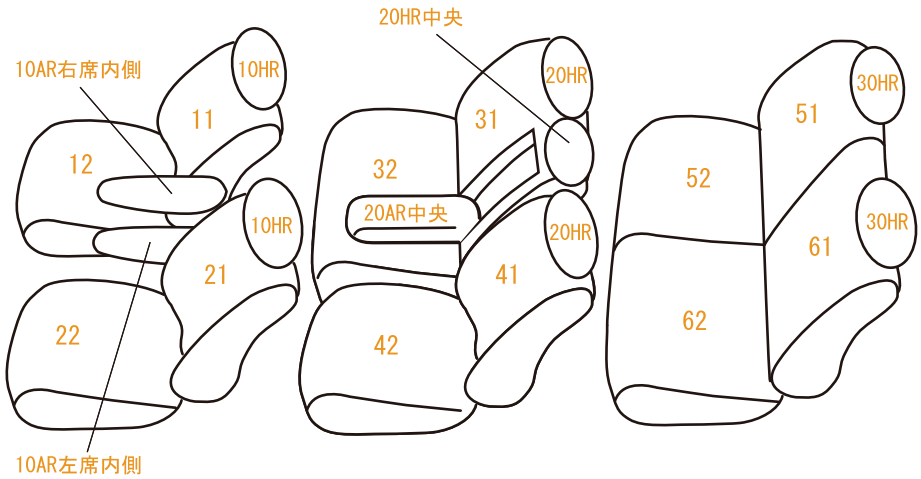
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 1P～2P
警告 サイドエアバッグについて	…> 3P～4P
1列目座面の装着方法	…> 5P～6P
1列目背もたれの装着方法	…> 7P～9P
2列目座面の装着方法	…> 10P～14P
2列目背もたれの装着方法	…> 15P～17P
3列目座面の装着方法	…> 18P～20P
3列目背もたれの装着方法	…> 21P～22P
ヘッドレストの装着方法	…> 23P～25P
アームレストの装着方法	…> 26P～27P
完成図	…> 28P
オプション・シートバックテーブル加工方法	…> 29P～30P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 31P～32P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- 1 クラツィオ専用ヘラ (付属)
- 2 ソケットレンチ (14mm)
- 3 六角レンチ (4番) : シートバックテーブル装備車のみ必要

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。

3P ▶



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

Step 1

1 列目座面の装着方法



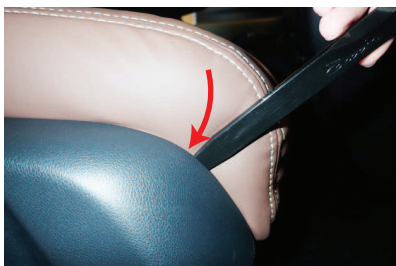
1 シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



4 外側面の生地をシートのプラスチック部の隙間に入れ込みます。内側面の生地も、同様にします。



2 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい角度で作業を行ってください。



5 シート前側のラインに沿って、生地を入れ込みます。カバー内側面の生地も、同様にします。



3 入れ込んだ生地を、後ろ側から引き出します。

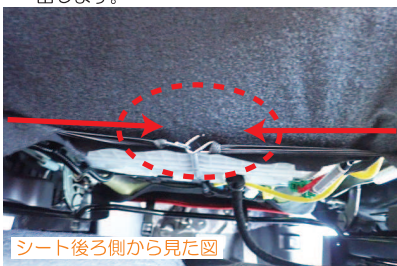


6 シートの隙間に、先端にゴムが付いている生地を入れ込みます。この際、ゴムをシートの隙間からシート下に落とすようにしてください。



シート後ろ側から見た図

- 7 6番で落とし込んだゴムを、シート底面から取り出し、付属の金属フックを取り付けます。
カバー内側面の生地も、同様にシートの隙間に入れ込み、シート底面からゴムを取り出します。

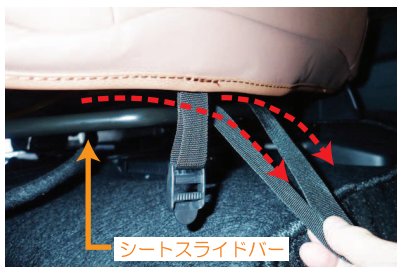


シート後ろ側から見た図

- 8 両側面から取り出したゴム同士を、図のように金属フックで引っ掛け固定します。

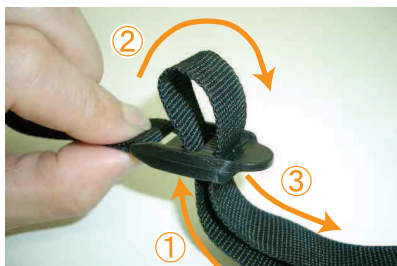


- 9 3番で引き出した生地に付いているベルトを、シート下を通して前側から引き出します。



シートスライドバー

- 10 カバー前側に付いているバックルに、9番で引き出したベルトを通し、固定します。この際、ベルトは図のようにシートスライドバーの上側を通してください。



- 11 ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引く事でベルトが締め固定されます。
ベルトを強く引き過ぎると、切れる恐れがありますのでご注意ください。



- 12 カバーのラインを整え、1列目運転席座面の完成です。
助手席も同様に取り付けます。

Step 2

1 列目背もたれの装着方法

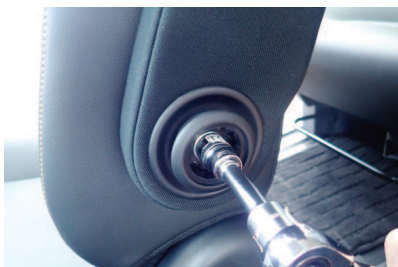


注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



- 1 始めに、アームレストをシートから取り外します。先端の細い道具を使用して、図のようにアームレスト側面のキャップを取り外します。キャップ裏の一部に図のように窪みがありますので、窪み部分に差し込むようにすると取り外しやすくなります。



- 2 ラatchetレンチ（14mm）を使用し、ボルトを外すと、アームレストが取り外せます。
※オプション・シートバックテーブル装備車の場合は、29・30ページを参照しシートバックテーブルも取り外します。



- 3 カバー背面に付いているファスナーを開きます。



- 4 シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



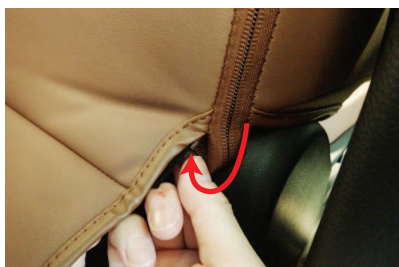
- 5 ヘッドレストの台座を取り出します。台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込み、生地伸びを利用して台座を取り出します。



- 6 ヘッドレストの台座を取り出すと、このようになります。



- 7 カバー背面のファスナーを、生地同士を内へ寄せながら閉じます。
ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 8 ファスナーの先端部分は、カバーの内側へ入れ込みます。



- 9 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい角度で作業を行ってください。



外側に生地を通して入れ込む

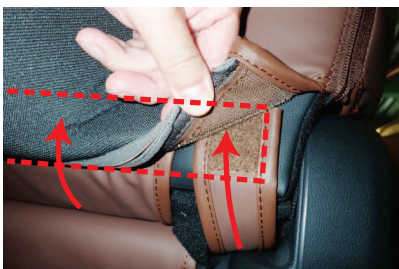
- 10 9番で生地を入れ込む際は、カバー両端の生地を、シート付け根（○位置）の生地の外側を通して入れ込みます。



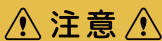
- 11 入れ込んだ生地を、後ろ側から引き出します。



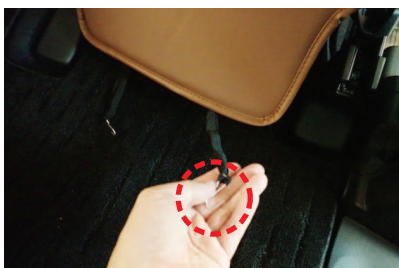
- 12 カバーをシートに馴染ませます。図の①～③の手順で、カバー側面のシワを中央側に向かって馴染ませるようにし、下側に余った生地を、11番と同様に後ろ側から引き出します。カバーがシートに馴染むまで繰り返して行ってください。



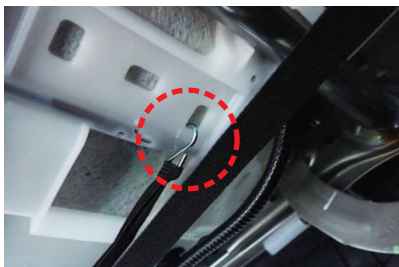
- 13 11番で引き出した生地と背もたれ背面の生地を、マジックテープで固定します。



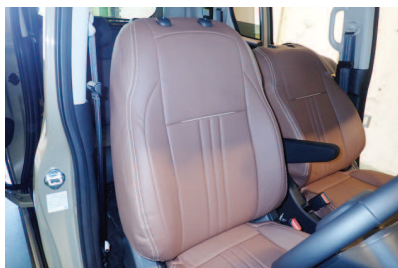
サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。



- 14 カバー背面下の生地に付いているゴムに、付属の金属フックを取り付けます。



- 15 金属フックをシート底面に引っ掛け固定します。
 図の引っ掛け位置は一例です。必ずしも同じ位置に引っ掛ける必要はありません。



- 16 サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認してください。
 カバーのラインを整え、1列目運転席背もたれの完成です。
 助手席も同様に取り付けます。

Step 3

2列目座面の装着方法

※運転席側座面で説明します



- 1 始めに、中央席用シートベルトのバックルをシートに固定されているゴムから取り外します。ゴムの長さが短いので、ゴムを矢印方向に引っ張りながら、バックルを抜き取るようにしてください。



- 2 シートベルトバックルを取り外すと、このようになります。取り外したゴムは、カバー装着後は使用しません。
※助手席側座面は、この作業は必要ありません。



- 3 シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい角度で作業を行ってください。



- 5 カバー前側の生地をシート底面を覆うようにかぶせます。



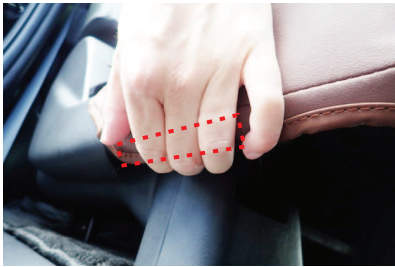
- 6 カバー先端に付いているマジックテープをシート底面に直接貼り付け固定します。この際、シートスライドバーに干渉しないようご注意ください。



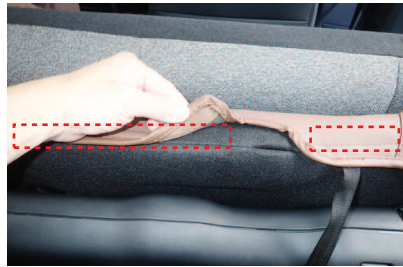
7 カバー外側面の生地をシート底面を覆うようにかぶせます。



10 シートを跳ね上げた状態で、4番で入れ込んだ生地を、シートの隙間から引き出します。



8 カバー先端に付いているマジックテープをシート底面に直接貼り付け固定します。



11 カバーに付いているマジックテープを、シートに直接貼り付け固定します。



9 カバー外側面に付いている固定部材を、生地ごとシートのプラスチック部の隙間に入れ込みます。



12 カバーに付いているベルトを、シートの隙間に入れ込みます。(2カ所)



13 シートの下側からベルトを取り出します。



16 引き出した生地を、11番で固定した生地
の端と、マジックテープで固定します。



14 取り出したベルトを、6番で固定したカバ
ー先端に付いているバックルに通します。
この状態でベルトを締める事が出来ない為
バックルに通した状態にしておきます。
※ベルトの通し方は、6ページ11番を参
照してください。



17 カバー後ろ側は、このようになります。
※四角部分は、ISO対応チャイル
ドシート用アンカー部の為、カバーは覆
いません。



15 カバー内側面の生地を、後ろ側へ引き出し
ます。



18 シートのスリット部と、カバーの加工穴の
位置が合っている事を確認してください。



- 19 シートを元に戻し、前側にスライドさせると、シート底面に14番でバックルに通したベルトが確認出来ます。



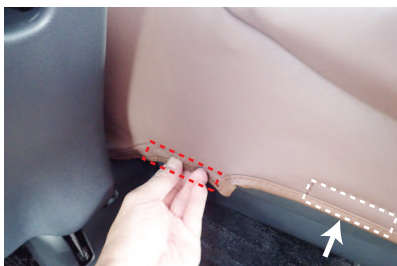
- 22 1番で取り外したシートベルトバックル収納部分に、カバーに付いている固定部材を生地ごとプラスチック部の隙間に入れ込みます。
※助手席側カバーには、図のゴムは付きません。



- 20 ベルトを締めて、カバー前後を固定します。ベルトを強く引き過ぎると、切れる恐れがありますのでご注意ください。



- 23 カバーに付いているゴムに、1番で取り外したシートベルトバックルを通します。ゴムにバックルを通さないと、バックルがシートからはみ出す場合があります。その状態で、助手席側のシートを動かすと、シートの一部が破損する恐れがありますのでご注意ください。



- 21 カバー内側面の生地が付いているマジックテープを、8番と同様にシート底面に直接貼り付け固定します。
※矢印部分のマジックテープは、シートに固定しません。



- 24 マジックテープが付いた生地を、シートの隙間に入れ込みます。



- 25 入れ込んだ生地が付いているマジックテープをシート下側から取り出し、シート表面に巻き付けるようにします。この状態で、カバー内側面に付いているマジックテープ（21番の矢印部分）で固定します。



- 26 カバー内側面は、このようになります。



- 27 シートベルトバックル収納部は、このようになります。
※助手席側カバーには、図のゴムは付きません。



- 28 シートベルトバックル収納部の形状に合わせて、生地を入れ込みます。
※助手席側座面は、この作業は必要ありません。



- 29 シートベルトバックル収納部は、このようになります。



- 30 カバーのラインを整え、2列目運転席側座面の完成です。
助手席側も一部形状が異なりますが、同様に取付けます。

Step 4

2列目背もたれの装着方法

※運転席側背もたれで説明します



- 1 カバー背面に付いているファスナーを開いた状態で、シートのラインに合わせてかぶせませす。
カバーの加工穴から、アームレストを取り出します。



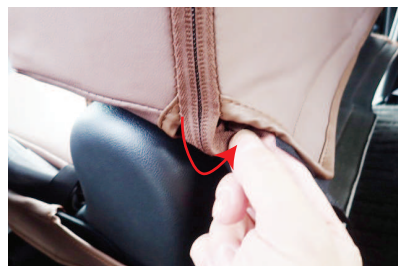
- 2 1列目と同様に、ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい角度で作業を行ってください。



- 4 カバー背面のファスナーを、生地同士を内へ寄せながら閉じます。
ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 5 ファスナーの先端部分は、カバーの内側へ入れ込みます。



- 6 3番で入れ込んだ生地を、後ろ側から引き出します。
背もたれを倒した状態で作業をすると、生地が引き出しやすくなります。



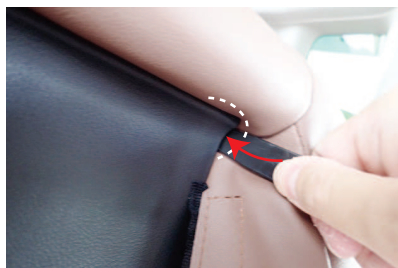
7 引き出した生地と背もたれ背面の生地を、マジックテープで固定します。



10 アームレスト収納部（上側）のプラスチック部の隙間に、カバーに付いている固定部を生地ごと入れ込みます。



8 アームレスト収納部（下側）の隙間に生地を入れ込みます。



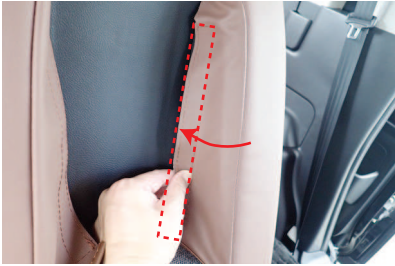
11 図のプラスチック部の角にも、ヘラ等を使用して生地を入れ込みます。



9 アームレストを手前に傾けた状態で、収納部の奥に見えるプラスチック部の隙間に、生地の先端を入れ込んでください。



12 カバー内側面の生地を、シートラインに沿うように内側へ寄せます。



- 13 アームレスト収納部（両側面）に、生地が付いているマジックテープを直接貼り付け固定します。



- 16 カバーのラインを整え、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も一部形状が異なりますが、同様に取り付けます。



- 14 貼り付けた生地の一部を、ヘラ等を使用してプラスチック部の隙間に入れ込みます。
※プラスチック部の固定用ツメがある部分には、生地が入れ込めません。



- 15 アームレスト収納部は、このようになります。

Step 5

3列目座面の装着方法



- 1 カバー背面に付いているファスナーとマジックテープの固定を外します。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい角度で作業を行ってください。



- 2 シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 5 入れ込んだ生地を、後ろ側から引き出します。



- 3 シート内側面の先端の生地が張るように、カバーをしっかりとかぶせます。



- 6 カバーの外側面に付いている固定部材を、シートのプラスチック部の隙間に入れ込みます。



7 カバーの外側面に付いているマジックテープ部分を、シートの隙間に入れ込みます。



10 シートを跳ね上げた状態で、7番で入れ込んだ生地を、シートの隙間から引き出します。



8 カバーの内側面の生地を、後ろ側へ引き出します。



11 カバーに付いているマジックテープを、シートに直接貼り付け固定します。



9 8番で引き出した生地を、5番で引き出した生地が付いているマジックテープで固定します。



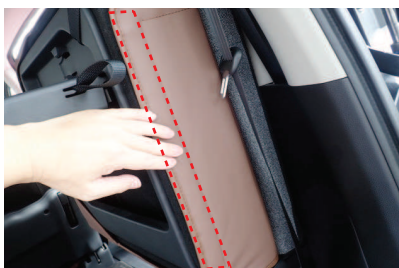
12 この際、10番で引き出した生地も一緒にマジックテープで固定します。



- 13 1番で外したファスナーを、生地同士を内へ寄せながら閉じます。ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとする、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 14 ファスナーの先端部分は、カバーの内側へ入れ込みます。



- 15 5番で引き出した生地に付いているマジックテープを、シートに直接貼り付け固定します。



- 16 シート底面は、このようになります。



- 17 シートベルトバックル収納部の隙間に生地を入れ込みます。



- 18 カバーのラインを整え、3列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

Step 6

3列目背もたれの装着方法



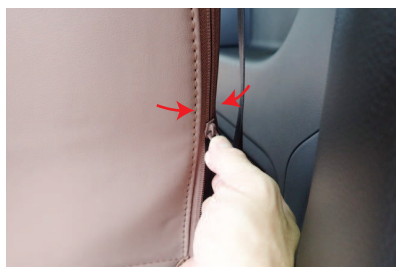
- 1 カバー背面に付いているファスナーを開きます。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい角度で作業を行ってください。



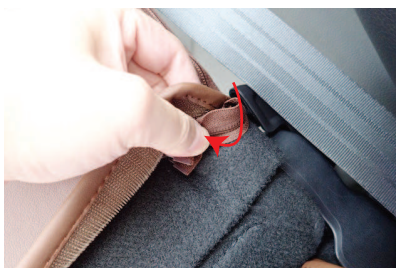
- 2 シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 5 カバー背面のファスナーを、生地同士を内へ寄せながら閉じます。ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 3 1・2列目と同様に、ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。



- 6 ファスナーの先端部分は、カバーの内側へ入れ込みます。



- 7 4番で入れ込んだ生地を、後ろ側から引き出します。背もたれを倒した状態で作業をすると、生地が引き出しやすくなります。



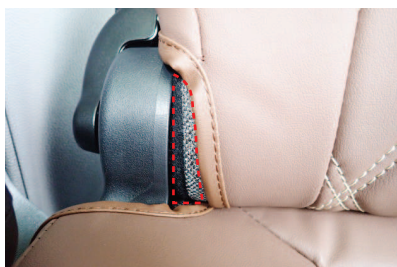
- 8 引き出した生地と背もたれ背面の生地を、マジックテープで固定します。



- 9 シート背面は、このようになります。



- 10 カバーのラインを整え、3列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。



- 11 シートのリクライニングレバー付近は、背もたれと座面の隙間が非常に狭く、カバーで覆うと摩擦が生じ、シートの動作に影響が出ます。この為、カバーで覆わない仕様としています。



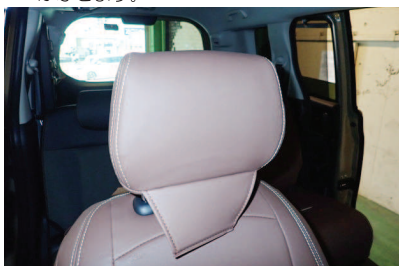
- 12 シートを跳ね上げる際、純正シートは背もたれを倒すとロックが掛かる仕様となりますが、カバーを装着する事で生地の厚みが増す為、背もたれにロックを掛ける為に図のように手で押さえるサポートが必要となります。あらかじめご了承ください。

Step 7

ヘッドレストの装着方法



- 1 カバーの前後を確認します。板状のプラスチックパーツが付いている方が前側です。カバーを裏返してヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。この際ヘッドレストの先端まで生地が張るように、しっかりとかぶせます。



- 2 ヘッドレストのラインからずれないようにカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 3 ヘッドレストをシートから外し、ヘッドレスト裏でカバーの左右の生地に付いているマジックテープ同士を固定します。



- 4 カバーの前後に付いているプラスチックパーツを固定します。

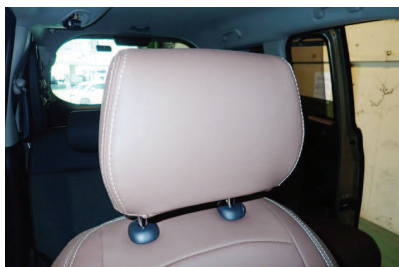


生地ごと巻き込む

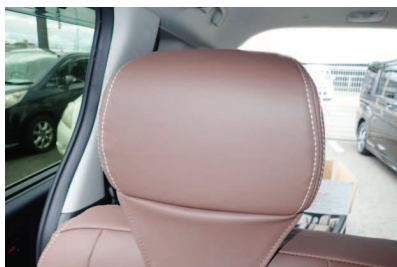
- 5 <プラスチックパーツの固定方法> フック状のプラスチックパーツに、板状のプラスチックパーツを生地ごと巻き込むようにしながらはめ込み固定します。



- 6 正しく固定すると、このようになります。



- 7 カバーのラインを整え、1列目ヘッドレストの完成です。



- 10 カバーのラインを整えます。



- 8 2列目ヘッドレストは前側から後ろ側へかぶせていきます。板状のプラスチックパーツが付いている方が前側です。



- 11 ヘッドレストをシートから外し、ヘッドレスト裏で、1列目と同様にマジックテープと、プラスチックパーツでカバーを固定します。



- 9 カバーをヘッドレスト後ろ側へかぶせます。無理にかぶせようとするとう生地が裂ける可能性があります。ヘッドレスト後ろ側の生地を馴染ませるようにしながら、慎重に作業してください。



- 12 カバーのラインを整え、2列目ヘッドレストの完成です。2列目中央席ヘッドレストも形状が異なりますが、同様に取り付けます。



- 13 3列目ヘッドレストは上側から下側へかぶせていきます。板状のプラスチックパーツが付いている方が前（下）側です。



- 16 カバーのラインを整え、3列目ヘッドレストの完成です。



- 14 ヘッドレストのラインからずれないようにカバーをヘッドレスト全体にかぶせ、下側の生地を引っ掛けるようにかぶせます。
無理にかぶせようとするとうちが裂ける可能性があります。ヘッドレスト下側の生地を馴染ませるようにしながら、慎重に作業してください。



- 15 ヘッドレストをシートから外し、ヘッドレスト裏で、1・2列目と同様にマジックテープと、プラスチックパーツでカバーを固定します。

Step 8

アームレストの装着方法

1 列目アームレスト



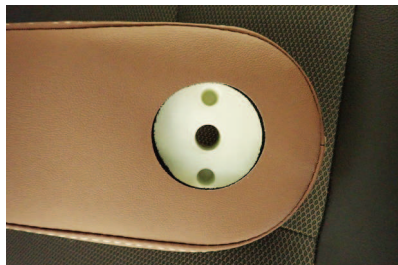
- 1 カバーの内外方向を確認します。側面の加工穴が大きい方が、内側になります。カバーを半分程度裏返した状態で、アームレストの先端に生地がたるまないように、しっかりとかぶせます。



- 2 アームレスト全体にカバーをかぶせます。アームレストの軸側（内側）に引っ掛けるようにしてカバーをかぶせます。
無理にかぶせようとするとう生地が裂ける可能性があります。アームレスト全体にカバーを馴染ませるようにしながら、慎重に作業してください。



- 3 カバーのラインを整えます。



- 4 アームレスト外側です。カバーの加工穴位置が合っている事を確認してください。



- 5 アームレストをシートに戻します。ボルトを締め過ぎないように、アームレストの動きを確認しながら適度な力で固定してください。カバーのラインを整え、1 列目アームレストの完成です。

2列目アームレスト



- 1 カバーの上下を確認します。板状のプラスチックパーツが付いている方が上側です。カバーを半分程度裏返した状態で、アームレストの先端に生地がたるまないように、しっかりとかぶせます。



- 2 カバー下側には、フック状のプラスチックパーツとベルトが付いています。



- 3 アームレスト収納部の隙間に生地を入れ込みます。この際、次の4番の作業がしやすいように2番のベルトの先端から入れ込むようにしてください。アームレストを前後に動かしながら、少しづつ隙間に生地を入れ込むようにします。



- 4 アームレスト収納部は隙間が狭いため、入れ込んだ生地を引き出す際に、2番のベルトを挿んで引き出すようにしてください。ベルトを強く引き過ぎると、切れる恐れがありますのでご注意ください。ベルトは生地を引き出すための部材です。生地を引き出した後は、使用しません。カバーの内側へ入れ込むようにしてください。



- 5 引き出した生地が付いているフック状のプラスチックパーツと、板状のプラスチックパーツを固定します。※プラスチックパーツの固定方法は、23ページ5番を参照してください。



- 6 カバーのラインを整え、2列目アームレストの完成です。アームレストを動かした際に、アームレストの摩擦により、アームレスト収納部の生地が出てくる可能性があります。生地が出てきた際は、説明書の手順に従って固定し直してください。

完成図



> 1列目



> 2名乗車+最大ラゲッジモード



> 2列目



> 2・3列目アレンジモード



> 3列目

2・3列目アレンジモード時の注意点



2列目背もたれを3列目座面とフラットにする際に、図のように手で押さえるサポートが必要となります。
また、シートを戻す際にも、背もたれを持ち上げるサポートが必要です。
あらかじめご了承ください。

オプション・シートバックテーブル加工方法

※カバー装着前に、シートバックテーブルを取り外します



1 シートバックテーブルを上げた状態で、ヘッドレストのシャフトとテーブルの角度が90度になるように、シート位置を調整します。シートバックテーブルの脱着時にはこの角度を守るようにしてください。



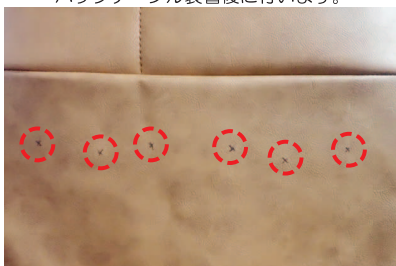
2 六角レンチ（4番）を使用し、シートバックテーブルを固定しているネジ（6カ所）を外します。この際、テーブルをしっかり押さえながら作業してください。



3 全てのネジを外すと、シートバックテーブルが取り外せます。



4 外したネジを、シートに仮留めしておきます。この状態で、7ページ3番以降を参照し、カバーを装着します。
※9ページ14・15番の作業は、シートバックテーブル装着後に行います。



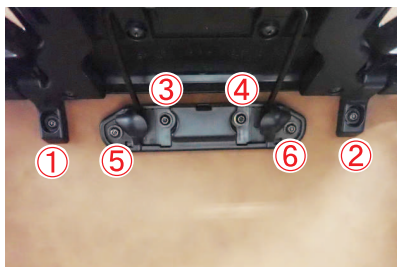
5 装着したカバーの上から、仮留めたネジ位置に印を付けます。



6 カバーに付けた印に、カッターなどを使用して、10mm程度の十字穴を開けます。カバー背面の固定（マジックテープとファスナー）を開いた状態で作業を行い、純正シートを傷つけないようご注意ください。



7 開けた穴から仮留めしたネジを取り出します。



10 ネジは、図の①→⑥の順番に固定します。始めに①・②を仮締めした後に、③→⑥の順にネジを固定し、最後に①・②を本締めしてください。



8 シートからネジを外します。中央の2カ所のみ、バックテーブル裏の突起部位置用に、穴から下方向へ25mm切り込みを入れます。加工した穴の位置が合っている事を確認し、6番で開いたカバー背面の固定を元に戻します。



11 1番の角度でシートバックテーブルが元に戻しているか確認します。ずれている場合は、取り付け直してください。シートとシートバックテーブルの間に浮きなどがあると破損する恐れがありますのでご注意ください。



9 バックテーブルを元に戻します。8番の切り込み位置に、バックテーブル裏の突起部を差し込み位置を合わせます。この際、図のようにバックテーブル位置がずれないように、粘着テープで仮固定すると作業がしやすくなります。



12 シートバックテーブルの動作確認を行い、問題が無ければ完成です。シートバックテーブルが折りたためないなど、動作に問題がある場合は、取り付け直してください。シートバックテーブルの動作確認は、必ず6カ所のネジを本締めしてから行います。助手席の場合も同様に取り付けます。



After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。



- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。

パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816